

謎多き鳥、ケリの渡りの解明

—標識と GPS ロガーを用いた追跡—

小丸奏（岐阜大学応用生物科学部 4 年）



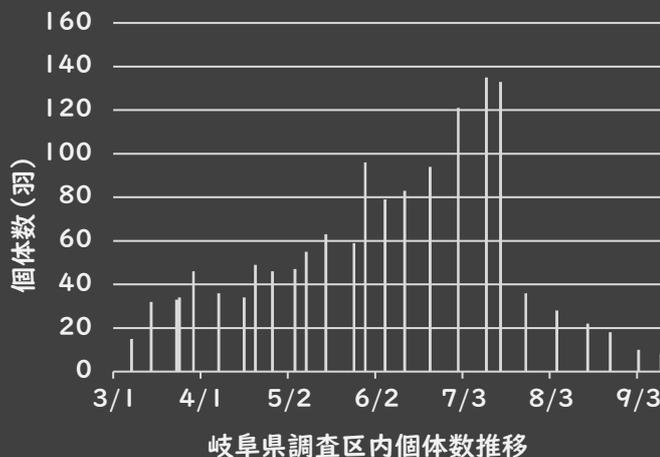
はじめに

ケリは近畿、東海圏では非常に身近な鳥ですが局所的な分布や繁殖生態など謎が多く、環境省の最新のレッドリストに情報不足 (DD) で掲載されています。中国で繁殖しているケリは東南アジアなどへ渡ることが分かっていますが、日本のケリは詳しいことが分かっていません。岐阜県では今年春からケリの標識調査を行い、生態の解明を試みています。現在行われている標識調査において繁殖生態が少しずつ解明されつつあるものの、標識のみでは、移動などの追跡は難しく、GPS ロガーなどを用いた調査を行う必要があります。



これまでの調査

岐阜県における先行研究によって、ケリの個体数が冬季に減っていることが明らかになっています。2021 年の 3 月～9 月における個体数調査でも繁殖期終了後、個体数が最大時の 1/10 以下になることが分かりました。それに加えて繁殖期中も、水田状況に応じて移動をしていることも分かりました。また、栃木県と京都府では長期間に渡ってケリの標識調査が行われています。栃木県においては、繁殖地から 100 km 以上離れた南関東で越冬していることが確認されました。京都府の調査区においての個体数調査では、繁殖期と冬季で個体数は変わらないものの、繁殖期にいる標識個体が冬季にはいなくなっていることが分かっています。



➡ ケリは季節移動を行っていると考えられる！



目的

標識調査に加え、GPS ロガーを用いた追跡調査を行うことで、繁殖地だけでなく季節移動、中継地、越冬地の特定を試みます。

➔ 岐阜県のケリの渡りについて明らかにしたい！



調査内容

調査地は主に岐阜県内の水田地帯です。捕獲したケリに標識（色足環＋環境省金属足環）と GPS ロガーを装着します。その後、今年に引き続き個体数調査と標識個体の追跡を行います。来年の繁殖期に GPS ロガーのデータ回収を試みます。本調査では衛星回線でデータを回収できる GPS ロガーを使用予定ですが、個体への負担を考え、再捕獲、機械の回収を行いたいです。



▲捕獲、標識装着時



▲岐阜県内で標識された個体



期待される成果・展望

GPS ロガーの装着によって、岐阜県で繁殖しているケリが一年を通してどのような移動を行っているのかを解明します。ケリは分布、個体数など不明な点が多いため、まず繁殖地だけでなく越冬地、中継地など渡りについて明らかにすることが、現在のケリがおかれている状況を明らかにする手がかりへ繋がります。また、移動を詳しく見ることで、ケリ生息地の選好性が明らかにできる可能性もあります。



支援金の使途

GPS ロガーなどの調査に必要な機材の購入、調査地までの交通費などに使用します。ご支援よろしくお願い致します。

